

## 序章 環境影響評価書作成までの経緯等

## 序章 環境影響評価書作成までの経緯等

### 1. 環境影響評価書について

本書は、「埼玉県環境影響評価条例」(平成6年12月,埼玉県環境影響評価条例第61号)に基づき、平成30年3月23日付けで知事に提出した「(仮称)圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区土地区画整理事業 環境影響評価準備書」(以下、「準備書」という。)の記載事項について、住民等の意見及び知事意見の内容を踏まえ、埼玉県環境影響評価条例に基づいた「(仮称)圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区土地区画整理事業 環境影響評価書」(以下、「評価書」という。)としてとりまとめたものである。

### 2. 評価書作成までの経緯

評価書作成までの経緯は、表1(1)～表1(2)に示すとおりである。

表1(1) 評価書作成までの経緯

項目	年月日	備考
調査計画書提出	平成29年6月1日	事業者→知事
関係地域の決定通知	平成29年6月5日	知事→事業者 【関係地域】 鶴ヶ島市、川越市、狭山市、坂戸市、日高市
調査計画書公告	平成29年6月6日	
調査計画書縦覧	平成29年6月6日 ～7月6日	埼玉県環境部環境政策課 埼玉県西部環境管理事務所 埼玉県東松山環境管理事務所 鶴ヶ島市都市計画課、川越市環境政策課 狭山市環境課、坂戸市環境政策課 日高市環境課
調査計画書に関する説明会	平成29年6月25日 平成29年6月29日 平成29年7月1日 平成29年7月2日 平成29年7月2日	鶴ヶ島市役所 狭山市柏原公民館 川越市川鶴市民センター 坂戸市入西地域交流センター 日高市役所
住民等の意見書提出期間	平成29年6月6日 ～7月20日	意見書：2通
技術審議会第1回小委員会	平成29年6月14日	
技術審議会第2回小委員会	平成29年7月10日	
調査計画書についての知事意見受理	平成29年8月23日	知事→事業者
調査計画書記載事項変更に係る手続等免除承認申請	平成30年2月16日	事業者→知事
同申請承認	平成30年3月7日	知事→事業者
準備書提出	平成30年3月23日	事業者→知事
準備書公告	平成30年3月27日	
準備書縦覧	平成30年3月27日 ～4月27日	埼玉県環境部環境政策課 埼玉県西部環境管理事務所 埼玉県東松山環境管理事務所 鶴ヶ島市都市計画課、川越市環境政策課 狭山市環境課、坂戸市環境政策課 日高市環境課

表 1(2) 評価書作成までの経緯

項 目	年 月 日	備 考
住民等の意見書提出期間	平成 30 年 3 月 27 日 ～ 5 月 11 日	意見書：3 通
準備書に関する説明会	平成 30 年 4 月 20 日 平成 30 年 4 月 21 日 平成 30 年 4 月 21 日 平成 30 年 4 月 22 日 平成 30 年 4 月 22 日	鶴ヶ島市役所 狭山市柏原公民館 川越市川鶴市民センター 坂戸市入西地域交流センター 日高市役所
技術審議会第 1 回小委員会	平成 30 年 4 月 9 日	
技術審議会第 2 回小委員会	平成 30 年 4 月 26 日	
第 105 回環境影響評価行政 推進会議	平成 30 年 5 月 9 日	
公聴会	平成 30 年 5 月 26 日	鶴ヶ島市役所 1 名
第 94 回埼玉県環境影響評価 技術審議会	平成 30 年 5 月 28 日	
準備書についての知事意見 受理	平成 30 年 6 月 6 日	知事→事業者
評価書提出	平成 30 年 7 月	事業者→知事

### 3. 評価書作成の手順

評価書は、「埼玉県環境影響評価条例」、「埼玉県環境影響評価条例施行規則」、「埼玉県環境影響評価技術指針」に基づき作成した。

具体的には、準備書に対する住民等の意見及び知事意見を反映するとともに、準備書の内容を再検討した。

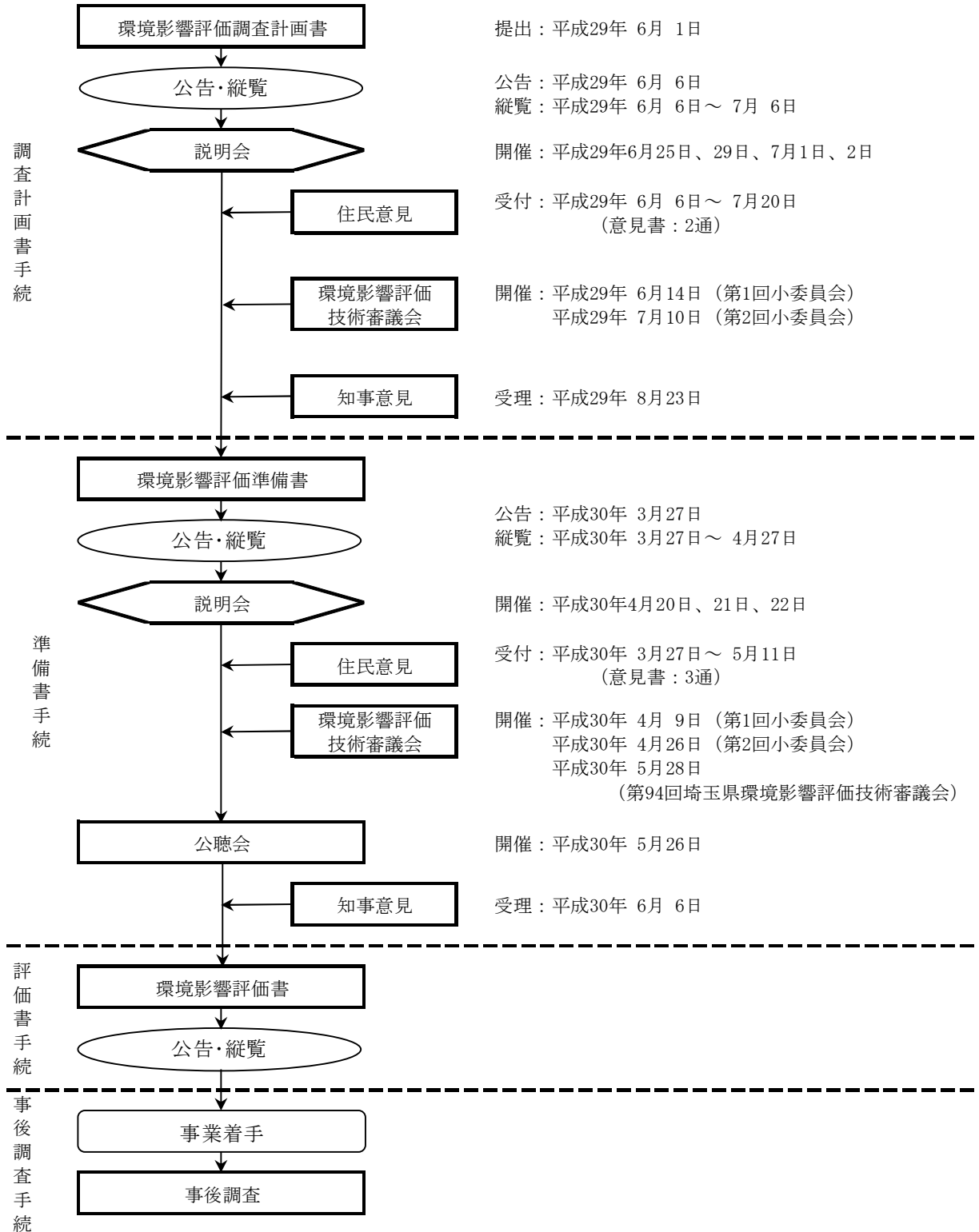


図1 環境影響評価の手続きの流れ

#### 4. 環境影響評価準備書からの変更点の概要

評価書の作成にあたっては、準備書に対する知事意見等の内容を反映させるために、準備書の記述内容について再検討を行い、記述の追加・修正を行った。主な追加・修正事項は、本編については表2、概要版については表3に示すとおりである。

なお、本表は、主要な修正の概要を示すものであり、誤字・脱字等の軽微な修正については含めていない。

表中の修正理由の記号は、以下に示すとおりである。

A：知事意見、あるいは技術審議会等の指摘事項に対して追加・修正を行った。

B：内容の充実、またはわかりやすくするため、文章等の追加・修正を行った。

C：その他

表2(1) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
第2章 対象事業の目的及び内容					
1	2.6 対象事業の実施方法 2.6.7 交通計画 2) 供用時の主要な走行経路	記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	17	17
2	2.6 対象事業の実施方法 2.6.9 工事計画 7) 工事中における環境保全対策 (1) 大気質	①の表題において、誤記があったため、修正した。	C	23	23
3	2.7 環境の保全についての配慮事項 2.7.1 公的な計画及び指針との整合性	引用している文献が更新されているため、時点更新した。	A	27	27
4	2.7 環境の保全についての配慮事項 2.7.1 公的な計画及び指針との整合性	No.3を踏まえ、内容を更新した。	A	30	30
第3章 地域特性					
5	3.1 社会的状況 3.1.7 法令による指定及び規制等の状況 2) 水質汚濁に係る法律、条例等 (2) 公害の防止に関する法律に基づく地域地区の指定状況及び規制基準	表3.1-35において、記載内容の表現をわかりやすくするとともに、誤記があったため、修正した。	B, C	104	104 ～ 105
6	3.2 自然的状況 3.2.1 気象、大気質、騒音、振動、悪臭等の状況 2) 大気質の状況 (9) 公害苦情の状況	表3.2-13において、記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	131	132
7	3.2 自然的状況 3.2.1 気象、大気質、騒音、振動、悪臭等の状況 4) 振動の状況 (2) 公害苦情の状況	表3.2-17において、記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	136	137
8	3.2 自然的状況 3.2.3 土壌及び地盤の状況 1) 土壌の状況 (4) 公害苦情の状況	表3.2-27において、記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	148	149

表 2(2) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
9	3.2 自然的状況 3.2.4 一般環境中の放射性物質の状況	表 3.2-30(5)において、記載内容の表現をわかりやすくするとともに、誤記があったため、修正した。	B, C	155	156
第 10 章 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果					
10	10.1 大気質 10.1.2 予測 2) 資材運搬等の車両の走行に伴う大気質への影響 (5) 予測条件	表 10.1-31 と差異があったため、統一した。	C	258	260
11	10.1 大気質 10.1.2 予測 5) 自動車交通の発生に伴う大気質への影響 (5) 予測条件	表 10.1-49 と差異があったため、統一した。	C	290	292
12	10.2 騒音・低周波音 10.2.3 評価 5) 施設の稼働に伴う低周波音の影響 (1) 評価方法	意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	356	358
13	10.2 騒音・低周波音 10.2.3 評価 5) 施設の稼働に伴う低周波音の影響 (2) 評価結果	No.12 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	358	360
14	10.4 悪臭 10.4.1 調査 1) 調査内容 (2) 気象の状況	記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	381	383
15	10.6 水象 10.6.3 評価 1) 評価方法 (2) 基準又は目標との整合に係る観点	表 2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	422	424
16	10.8 動物 10.8.2 予測 6) 予測結果 (2) 保全すべき動物に対する影響	アオヤンマの予測結果に対する意見を踏まえ、再検討し、修正した。	A	480	482
17	10.8 動物 10.8.2 予測 6) 予測結果 (2) 保全すべき動物に対する影響	マルタンヤンマの予測結果に誤記があったため、修正した。	C	480	482
18	10.8 動物 10.8.3 評価 2) 存在・供用時による影響 (1) 評価方法	記載内容の表現をわかりやすくするため、表 2.7-1 公的な計画等の名称と統一した。	B	489	491

表 2(3) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
19	10.8 動物 10.8.3 評価 2)存在・供用時による影響 (1)評価方法	No.3 を踏まえ、内容を更新した。	A	489	491
20	10.8 動物 10.8.3 評価 2)存在・供用時による影響 (2)評価結果	意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	490	493
21	10.9 植物 10.9.2 予測 6)予測結果 (2)緑の量	表 10.9-13 と差異があったため、統一した。	C	509	511
22	10.9 植物 10.9.2 予測 6)予測結果 (3)保全すべき植物に対する影響	クチナグサの予測結果に対する意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	510	512
23	10.9 植物 10.9.2 予測 6)予測結果 (3)保全すべき植物に対する影響	ギンランの予測結果に対する意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	511	513
24	10.9 植物 10.9.2 予測 6)予測結果 (3)保全すべき植物に対する影響	キンランの予測結果に対する意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	511	513
25	10.9 植物 10.9.3 評価 1)工事中の影響 (2)評価結果	No. 22, No. 23, No. 24 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	513	515
26	10.9 植物 10.9.3 評価 2)存在・供用時による影響 (1)評価方法	記載内容の表現をわかりやすくするため、表 2.7-1 公的な計画等の名称と統一した。	B	515	517
27	10.9 植物 10.9.3 評価 2)存在・供用時による影響 (1)評価方法	No.3 を踏まえ、内容を更新した。	A	515	517
28	10.9 植物 10.9.3 評価 2)存在・供用時による影響 (2)評価結果	意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	516	518
29	10.10 生態系 10.10.3 評価 2)存在・供用時による影響 (1)評価方法	記載内容の表現をわかりやすくするため、表 2.7-1 公的な計画等の名称と統一した。	B	534	536
30	10.10 生態系 10.10.3 評価 2)存在・供用時による影響 (1)評価方法	No.3 を踏まえ、内容を更新した。	A	534	536
31	10.10 生態系 10.10.3 評価 2)存在・供用時による影響 (2)評価結果	意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	535	538

表 2(4) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
32	10.11 景観 10.11.1 調査 4) 調査結果 (2) 主要な眺望地点の状況	意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	541	543
33	10.11 景観 10.11.2 予測 1) 造成地の存在及び施設の影響による影響	1)の表題において、誤記があったため、修正した。	C	549	551
34	10.11 景観 10.11.3 評価 2) 評価結果 (1) 回避・低減の観点	記載内容をわかりやすくするため、表 10.11-10 の影響要因と統一した。	B	553	555
35	10.11 景観 10.11.3 評価 2) 評価結果 (1) 回避・低減の観点	表 10.11-10 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	553	555
36	10.11 景観 10.11.3 評価 2) 評価結果 (2) 基準又は目標との整合に係る評価	表 10.11-10 の影響要因と差異があったため、統一した	C	554	556
37	10.12 自然とのふれあいの場 10.12.3 評価 1) 評価方法 (1) 工事中に伴う影響	表 2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	570	572
38	10.12 自然とのふれあいの場 10.12.3 評価 2) 評価 (2) 存在・供用に伴う影響	表 10.12-12 の表題において、誤記があったため、修正した。	C	572	574
39	10.15 廃棄物等 10.15.2 評価 2) 施設の稼動に伴う廃棄物等の影響 (1) 評価方法	記載内容の表現をわかりやすくするため、表 2.7-1 公的な計画等の名称と統一した。	B	603	605
40	10.16 温室効果ガス等 10.16.2 予測 1) 工事中における温室効果ガス等の影響 (2) 予測方法	図 10.16-1 の図題と差異があったため、統一した。	C	609	611
41	10.16 温室効果ガス等 10.16.2 予測 1) 工事中における温室効果ガス等の影響 (5) 予測結果	表 10.16-8 の表題において、誤記があったため、修正した。	C	613	615
42	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 1) 工事中における温室効果ガス等の影響 (1) 評価方法	表 10-6-23 の項目において、誤記があったため、修正した。	C	622	624



表 2(5) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
43	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 1) 工事中における温室効果ガス等の影響 (2) 評価結果	表 10.16-24 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	623	625
44	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 2) 存在・供用時における温室効果ガス等の影響 (1) 評価方法	表 10.16-26 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	624	626
45	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 2) 存在・供用時における温室効果ガス等の影響 (1) 評価方法	意見を踏まえ、再検討し、追加修正した。	A	624	626
46	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 2) 存在・供用時における温室効果ガスの等影響 (2) 評価結果	表 10.16-26 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	625	627
47	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 2) 存在・供用時における温室効果ガスの等影響 (2) 評価結果	No. 45 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	625	627
48	10.16 温室効果ガス等 10.16.3 評価 2) 存在・供用時における温室効果ガス等の影響 (2) 評価結果	表 10.16-26 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	626	628
<b>第 11 章 環境保全措置</b>					
49	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.6 水象	記載内容の表現をわかりやすくするため修正した。	B	634	636
50	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.7 動物	表 11.1-7 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	635	637
51	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.7 動物	No. 20 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	636	638
52	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.8 植物	No. 28 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	637	639
53	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.9 生態系	表 11.1-9 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	638	640
54	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.9 生態系	No. 31 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	639	641
55	11.1 予測・評価に際して講ずることとした環境保全措置 11.1.10 景観	記載内容の表現をわかりやすくするため、表 11.1-10 の影響要因と統一した。	B	640	642

表 2(6) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
56	11.1 予測・評価に際して講ずること とした環境保全措置 11.1.11 自然とのふれあいの場	表 11.1-11 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	641	643
57	11.1 予測・評価に際して講ずること とした環境保全措置 11.1.12 史跡・文化財	表 11.1-12 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	642	644
58	11.1 予測・評価に際して講ずること とした環境保全措置 11.1.14 廃棄物等	表 11.1-14 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	643	645
59	11.1 予測・評価に際して講ずること とした環境保全措置 11.1.15 温室効果ガス等	表 11.1-15 の影響要因と差異があったため、統一した。	C	644	646
60	11.1 予測・評価に際して講ずること とした環境保全措置 11.1.15 温室効果ガス等	No. 45 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	645	647
61	11.2 代償措置の実施計画 11.2.1 動物、植物、生態系に係る 代償措置 3)代償措置の実施方法	記載内容の表現をわかりやすくするとともに、表 11.2-1 と整合を図った。	B	648	650
第 12 章 対象事業の実施による影響の総合的な評価					
62	12.1 大気質	表 12-1(3)の予測・評価結果の概要と差異があったため、統一した。	C	651	653
63	12.1 大気質	記載内容の表現をわかりやすくするため、270 頁と統一した。	B	652	654
64	12.2 騒音・低周波音	No. 12, No. 13 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	656	658
65	12.4 悪臭	記載内容の表現をわかりやすくするため、389 頁と統一した。	B	659	661
66	12.6 水象	表 2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	660	662
67	12.7 動物	No. 20 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	662	664
68	12.8 植物	No. 28 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	663	665
69	12.9 生態系	No. 31 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	665	667
70	12.10 景観	表 12-10 の要因と差異があったため、統一した。	C	666	668
71	12.11 自然とのふれあいの場	表 2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	667	669
72	12.15 温室効果ガス等	表 12-15(1)の要因と差異があったため、統一した。	C	673	675
73	12.15 温室効果ガス等	整合を図るべき基準等の項目において、誤記があったため、修正した。	C	673	675

表 2(7) 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書での頁	評価書での頁
74	12.15 温室効果ガス等	表 12-15(2)の要因と差異があったため、統一した。	C	674	676
75	12.15 温室効果ガス等	No. 45 を踏まえ、内容を追加修正した。	A	674	676
第 13 章 事後調査の計画					
76	13.2 調査方法等 13.2.6 水象	意見を踏まえ、再検討し、修正した。	A	685	687
77	13.2 調査方法等 13.2.7 動物	記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	686	688
78	13.2 調査方法等 13.2.8 植物	記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	687	689
79	13.2 調査方法等 13.2.9 生態系	記載内容の表現をわかりやすくするため、修正した。	B	687	689
80	13.4 事後調査の実施体制 13.4.1 事後調査の提出時期 表 13.4-1 工程表	No. 76 を踏まえ、内容を修正した。	A	692	694

表3 主な追加・修正事項とその内容

No.	追加・修正を行った項目	追加・修正内容	修正理由	準備書概要版での頁	評価書概要版での頁
第3章 現地調査の概要					
1	図3-1(1) 現地調査位置図 (その1)	評価書と差異があったため、統一した。	C	17	14
第4章 予測及び評価の概要					
2	4.1 大気質 3) 造成等の工事 図4-3 造成等の工事に伴う粉じん(降下ばいじん)の予測地点及び発生源位置図	267頁と差異があったため、統一した。	C	25	23
3	4.2 騒音・低周波音 5) 施設の稼働(低周波音)	No.12, No.13を踏まえ、内容を追加修正した。	A	37	35
4	4.5 水質 1) 造成等の工事	【回避・低減の観点】の文中と差異があったため、統一した。	C	43	41
5	4.6 水象 1) 造成地の存在、施設の使用	【回避・低減の観点】の文中と差異があったため、統一した。	C	44	42
6	4.6 水象 1) 造成地の存在、施設の使用	表2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	44	42
7	4.8 動物 2) 造成地の存在	No.20を踏まえ、内容を追加修正した。	A	46	44
8	4.9 植物 1) 造成等の工事	No.22, No.23, No.24を踏まえ、内容を追加修正した。	A	47	45
9	4.9 植物 2) 造成地の存在	No.28を踏まえ、内容を追加修正した。	A	48	46
10	4.10 生態系 2) 造成地の存在	No.31を踏まえ、内容を追加修正した。	A	50	48
11	4.11 景観 1) 造成地の存在、施設の使用	1)の表題と差異があったため、統一した。	C	51	49
12	4.12 自然とのふれあいの場 1) 建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事	表2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	56	54
13	4.12 自然とのふれあいの場 2) 造成地の存在、施設の使用、施設の稼働、自動車交通の発生	表2.7-1 公的な計画等の名称と差異があったため、統一した。	C	57	55
14	4.14 電波障害 1) 施設の使用	1)の表題において、誤記があったため、修正した。	C	59	57
15	4.16 温室効果ガス等 1) 建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事	1)の表題と差異があったため、統一した。	C	64	62
16	4.16 温室効果ガス等 1) 建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事	表4-33の項目において、誤記があったため、修正した。	C	64	62
17	4.16 温室効果ガス等 2) 施設の稼働、自動車交通の発生	【回避・低減の観点】の文中と差異があったため、統一した。	C	65	63
18	4.16 温室効果ガス等 2) 施設の稼働、自動車交通の発生	No.45を踏まえ、内容を追加修正した。	A	66	64
19	4.16 温室効果ガス等 2) 施設の稼働、自動車交通の発生	No.45を踏まえ、内容を追加修正した。	A	67	65
第5章 事後調査の計画					
20	5.1 事後調査項目の選定 表5-2 事後調査工程表	No.76を踏まえ、内容を修正した。	A	71	69